

## 【樹木・草花の部屋】

### ソバ (タデ科ソバ属 *Fagopyrum esculentum*)

**和名** ; ソバ **別名** ; ソバムギ **英名** : buckwheat

タデ目 一年草

**原産地** ; 中央アジアから中国東北部

**花言葉** ; 懐かしい思い出、喜びも悲しみも、あなたを救う

**花の色** ; 白、淡紅、赤



← 写真-1 ソバの畑

撮影日 : 2012年10月7日

撮影場所 : 京都府木津川市

浄瑠璃寺近くの畑にて

撮影者 : Tさん

緑友会のワンデイハイキングで岩船寺から浄瑠璃寺へ歩いている途中の道端で白いきれいな花を発見。ソバの花と知りました。図鑑によると茎は円柱型中空で直立し、

とありますが、だいぶ横になっていました。ソバの実はどうなんでしょうか？

写真-2 ソバの葉、花 ⇒

撮影日 : 2012年10月7日

撮影場所 : 京都府木津川市

浄瑠璃寺近くの畑にて

撮影者 : Tさん



図鑑によると、名の由来は、漢名蕎麦に和名曾波牟岐として「本草和名」(918)に登場し、古代からソバムギと言われていた。ソバとは稜のことで、瘦果(そうか)は三稜形であることからソバムギで、ムギが省略されたものという。ムギの実(穂)は三角垂形で黒褐色か灰褐色で固い果皮に包まれているとありました。そば殻は果皮なのではないでしょうか？

## 【樹木・草花の部屋】

写真-3 ソバの花 ⇒

撮影日：2012年10月7日

撮影場所：京都府木津川市

浄瑠璃寺近くの畑にて

撮影者：Tさん



<ちょっと一言>

葉は、三角形に近い心臓形で、長柄があり互生する。

花は、白色ときに淡紅色の深く五裂した萼で、花弁はない。

一般に穀物は、イネ科（単子葉類）であるのに対して、ソバはタデ科、つまり双子葉類である。このようにイネ科以外の穀類として、アマランサス（ヒユ科）、キノア（アカザ科）等があり、これらは擬穀類とよばれる。

元は救荒植物として植えられてきた。夏ソバ、秋ソバのいずれも瘦果、茎葉を集め、日干ししたものを蕎麥という。フラボン類やフラボノール類またルチンなどを含む。ルチンは毛細血管を丈夫にするはたらきがある。ソバやソバ湯もルチンを含むので飲食すると高血圧予防に役立つ。また、とげ抜き、打ち身、捻挫、腫れものなどには、そば粉を酢で練り、患部に貼るとよい。昔からの知恵である。

このように、食べてよし、貼ってよしであるが、急性アレルギーを起こす場合もあり注意が必要です。

ちなみに、「ブナ（樺）」の古名を「そばのき」、ブナの実を「そばぐり」というのは、その実の形状が一般のドングリと異なり稜角を持っていることに由来する。また、カナメモチもソバノキの古名であるという。